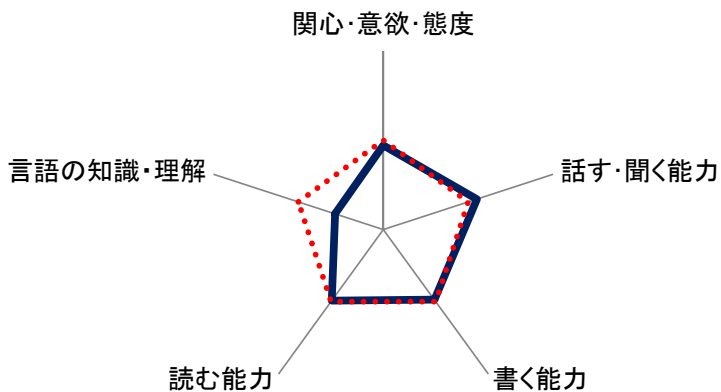


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

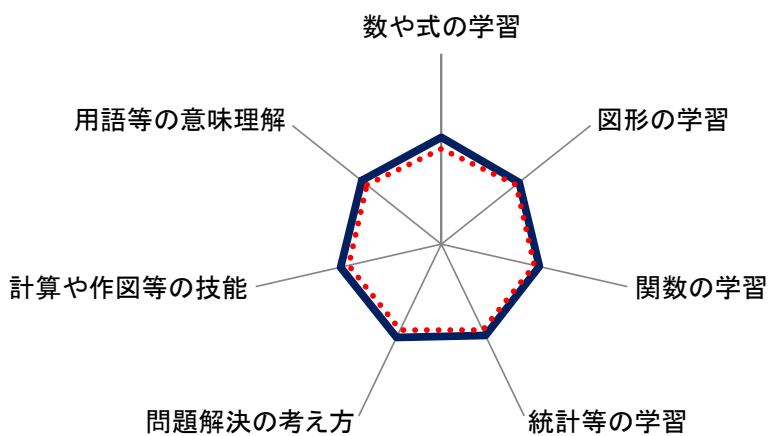
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

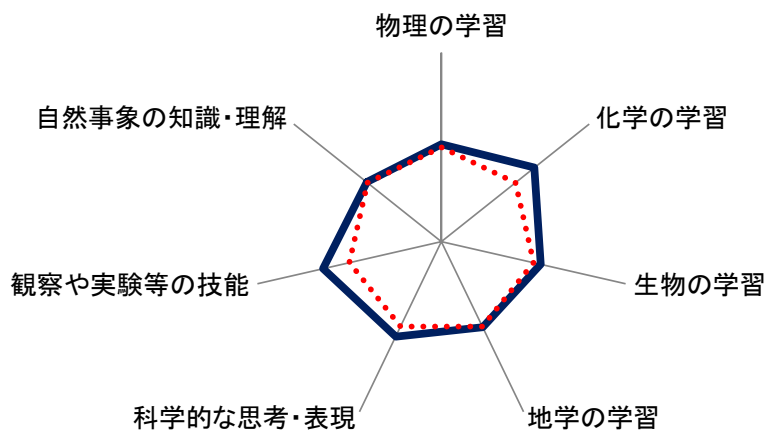
— 市平均
..... 全国平均



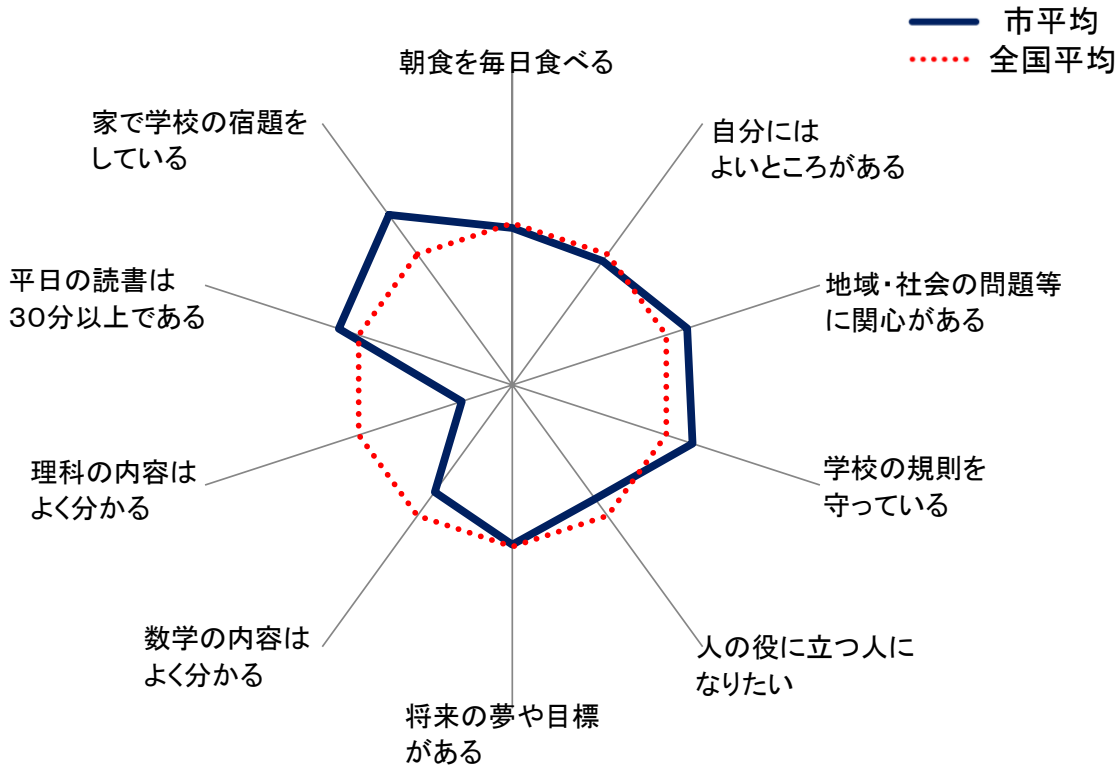
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、数学、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、特に、理科は「化学の学習」や「観察や実験等の技能」の各項目が全国平均を大きく上回っている。しかし、国語は、昨年度、良好な結果であった「言語の知識・理解」の項目が、本年度は全国平均を大きく下回っていることから、知識と活用のバランスの取れた学力の育成に向けて、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている項目で、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っているものと下回っているものの差が大きい。「家で学校の宿題をしている」や「学校の規則を守っている」など、基本的な生活習慣に関する項目は良好であり、継続が望まれる。数学、理科の授業理解の項目が全国平均を下回っており、特に「理科の内容がよく分かる」の項目は全国平均を大きく下回っており、小学校と同様、良好な学力の結果との関連が見られない。今後、生徒一人一人の課題を詳細に分析するとともに、生徒にとっての「楽しい授業、分かる授業」となるよう、学校全体での更なる授業改善が望まれる。